



彌^ミよ御^ミ健^{ケン}かに拜^{ハシ}す

皇太子殿下には、去年の春晴れの御着替の御儀を襄けさせられ十二月廿三日には御目出度（ゆめしゆど）く第五回の御鑑鏡（ごかんきょう）の夏秋を過（く）る山宮假御所（さんぐうかりごしょ）にての御日常はけだくも御樂しく、廣い御苑を御散步遊（よ）ばされ、木（き）に登りなされ、キナ芝生（キナシロ）をお滑り遊（よ）ばすなど白（しら）と云ふ御親しみになり、頗る御元氣（ごんき）にあらせられると承はる。

軍患機獻納宣傳號

日本 ゴドモ 新聞

日伯新聞附錄
伯國聖市マエストロ
カルザン街一〇九
(ヴエルグアイ二五八)
發行所 日伯新聞社
【毎週一回發行】

二月十日まだ夜の明けた。島には敵の正規兵の島を警備してゐたが、疾風の吹きぬ間に、我南支那方面の陸海軍は、突然一個旅、外に民國軍が十六個中隊ほどで、この勇敢無比の皇軍の

島に奇襲上陸

打擊

天皇陛下萬歳!!と叫んで最高の息を引取つて行く勇士。傷つき倒れてもなほ確陣を取る毎毎、敵の死物狂ひの銃砲火で無い勇士の奮闘を忘れてはゐんて歎を喰ひしばる勇士。東那の全土は今や完全に星雲の治める所となつて、蔣介英騷がある事を忘れてはいけません。それと同時に飛散るはなけれどなりません。若

「い、勇士の命を無にしたのです。陛下に對しても、又鉛筆で、民に對しても、誠に申譯せられました。」

